

## 5. 安全性・信頼性の確保

---

## 5章の要旨

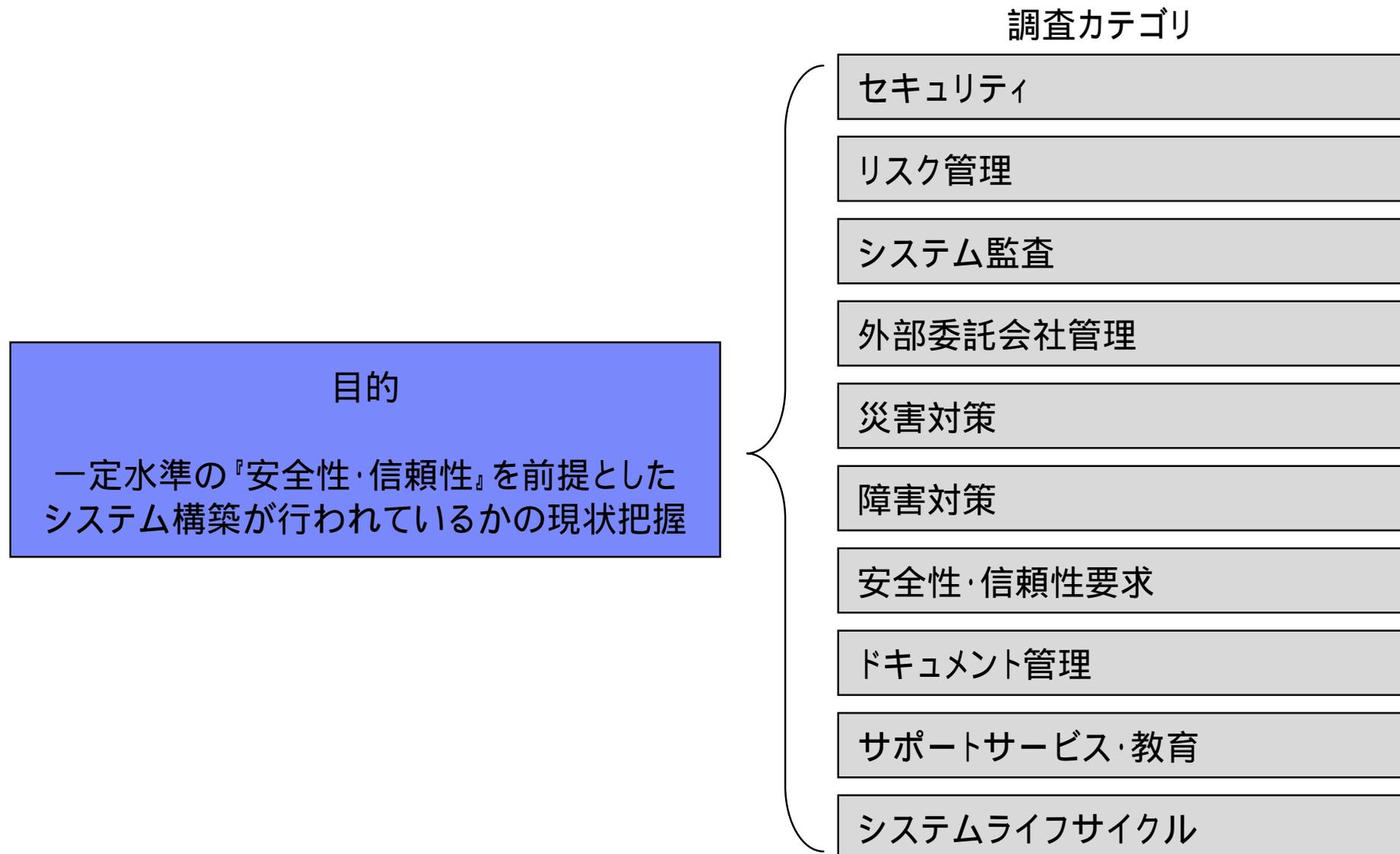
---

- 5章では、システムの安全性・信頼性及びシステムの安全性・信頼性を確保・維持するためのプロセスや体制等についての調査結果と課題を記載しています。
- 安全性・信頼性についての調査は、次に上げる10のカテゴリに分けて行い、その結果を、「組織/体制/人」「プロセス」「IT/環境」の3つの観点で分析し課題を抽出しました。  
調査カテゴリは、「セキュリティ」「リスク管理」「システム監査」「外部委託会社管理」「災害対策」「障害対策」「安全性・信頼性要求」「ドキュメント管理」「サポートサービス・教育」「システムライフサイクル」です。
- 主要な課題があると判断したカテゴリは、「セキュリティ」「リスク管理」「システム監査」「外部委託会社管理」です。また、「災害対策」は、見直しを行う必要があります。
- 各課題の内、システムで対応すべき課題に対しては、7章「システム刷新の方向性」にて要件を抽出しています。
- 調査カテゴリ「セキュリティ」「リスク管理」「システム監査」「外部委託会社管理」「災害対策」「障害対策」「安全性・信頼性要求」「ドキュメント管理」「サポートサービス・教育」の課題に対する施策は、10章-1「安全性・信頼性刷新の提案」に記載しています。
- 調査カテゴリ「システムライフサイクル」の課題に対する施策は、10章-2「システム運営刷新の提案」に記載しています。

## 5-1. 調査方法概要

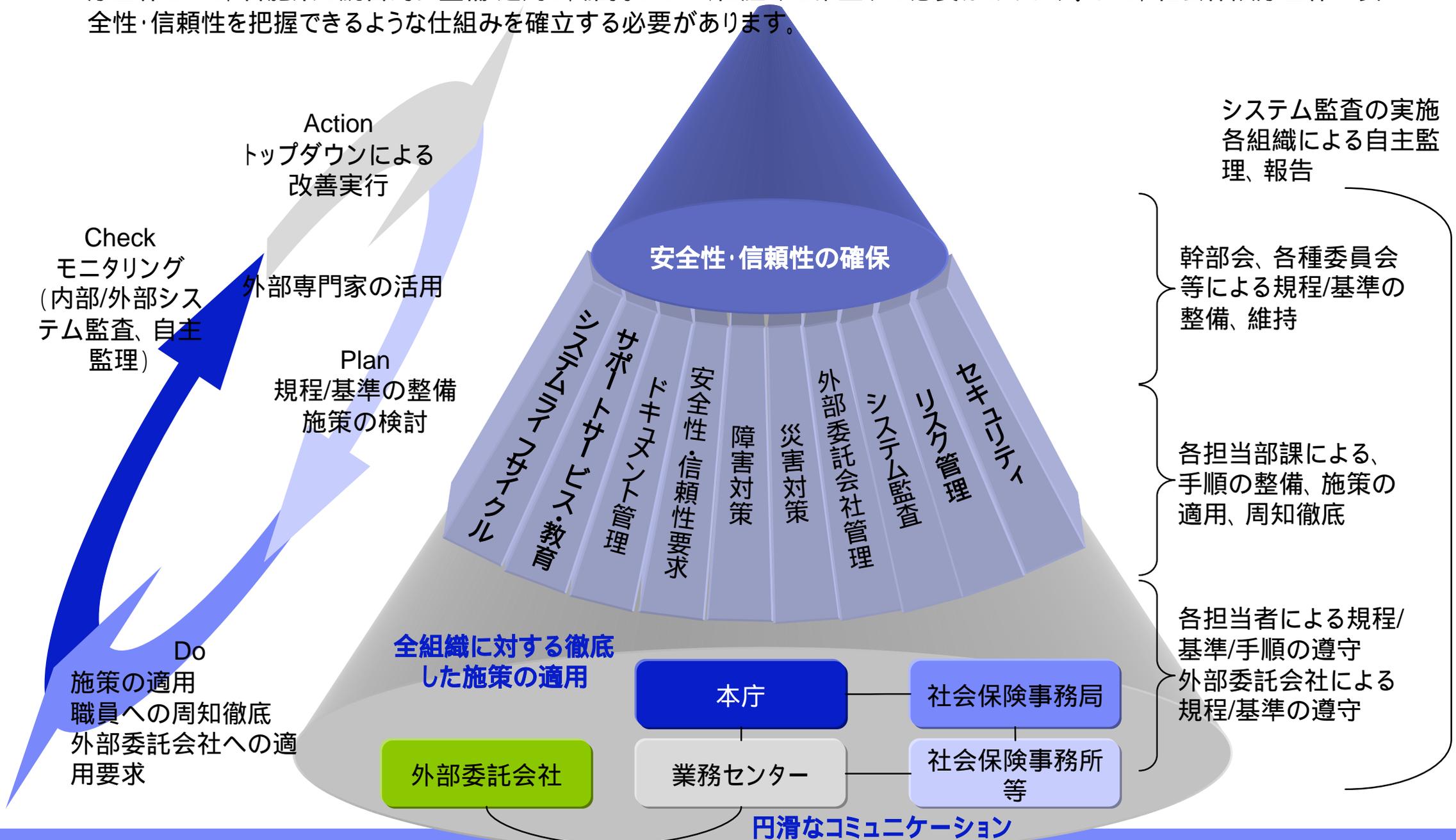
### 調査の目的

- 社会保険オンラインシステムについて、一定水準の『安全性・信頼性』を前提としたシステム構築が行われているかの現状把握を目的とします。以下の調査カテゴリに沿って、調査を実施します。



## 5-1. 調査方法概要 仕組みの確立

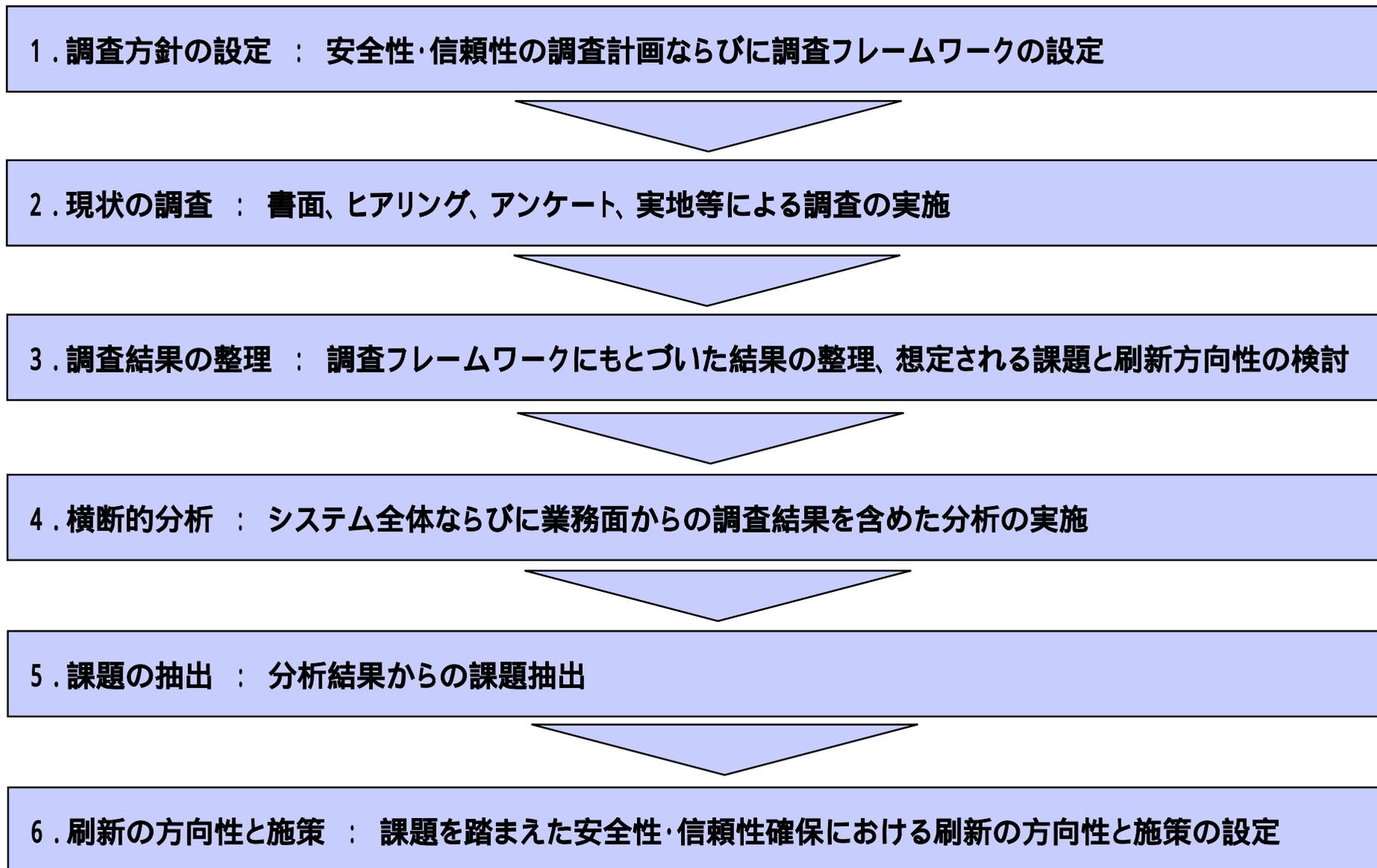
- 庁全体として、各施策を統合的に整備/適用し、維持していく仕組みを確立する必要があります。また、社会保険庁全体の安全性・信頼性を把握できるような仕組みを確立する必要があります。



## 5-1. 調査方法概要

### 調査アプローチ

- 安全性・信頼性の確保状況調査のアプローチは、以下のように進めています



## 5-1. 調査方法概要

### 調査実施方法

- 各調査カテゴリに対し、資料、ヒアリング、アンケート、実地確認、のいずれかの方法を用いて調査を実施しました。

調査カテゴリ	調査実施方法および実施対象部門			
	資料(主管部署)	ヒアリング	アンケート	実地確認
セキュリティ	業務センター、本庁	業務センター、本庁、 社会保険事務所	社会保険事務局 社会保険事務所	各システムセンター*、 社会保険事務所
リスク管理	業務センター、本庁	業務センター、本庁		
システム監査	業務センター、本庁	業務センター、本庁		
外部委託会社管理	業務センター	業務センター、本庁		
災害対策	業務センター、本庁	業務センター、本庁		各システムセンター*
障害対策	業務センター	業務センター		
安全性・信頼性要求	業務センター	業務センター		
ドキュメント管理	業務センター、 外部委託会社	業務センター		
サポートサービス・教育	業務センター	業務センター		
システムライフサイクル	業務センター	業務センター		

\*高井戸、三鷹、三田の3システムセンターの実地確認を実施

## 5-1. 調査方法概要 参照ガイドライン

- 各カテゴリの調査項目は、標準的なガイドラインに従って設定いたしました。

カテゴリ	主要参照ガイドライン
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISMS Ver. 2.0</li> </ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ISMS Ver. 2.0</li> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> </ul>
システム監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム監査基準</li> <li>COBIT</li> </ul>
外部委託会社管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> </ul>
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> <li>行政情報システムの安全対策指針</li> </ul>
障害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> <li>ITIL</li> </ul>
安全性・信頼性要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政情報システムの安全対策指針</li> <li>ITIL</li> </ul>
ドキュメント管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> </ul>
サポートサービス・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> <li>ITIL</li> </ul>
システムライフサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関等のシステム監査指針</li> </ul>

- 参照ガイドラインは以下のとおりです。

- ✓ 行政情報システムの安全対策指針  
<http://www.soumu.go.jp/gyoukan/kanri/990816c.htm>
- ✓ ISMS (Information Security Management System) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度認証基準 Ver. 2.0  
財団法人 日本情報処理開発協会  
<http://www.isms.jipdec.jp/doc/JIP-ISMS100-20.pdf>
- ✓ 金融機関等のシステム監査指針 (財)金融情報システムセンター (平成12年7月改訂)  
<http://www.fisc.or.jp/ippan.htm>
- ✓ システム監査基準  
<http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/systemauditG.htm>
- ✓ コンピュータウィルス対策  
<http://www.ipa.go.jp/security/antivirus/kijun952.html>
- ✓ ITIL = IT Infrastructure Library  
英国商務局 (OGC : Office of Government Commerce) の定めるITサービスマネジメントの規格  
<http://www.ogc.gov.uk/index.asp?id=2261>
- ✓ COBIT (Control Objectives for Information and related Technology)  
ISACA : Information Systems Audit and Control Association が定めるITガバナンス成熟度を測るフレームワーク  
米国情報システムコントロール協会  
<http://www.isaca.org/>

## 5-1. 調査方法概要

### 調査フレームワーク 1/3

- 安全性・信頼性の確保状況を、以下の網羅的な枠組みで調査しました。

大項目	中項目
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティ基本方針</li> <li>組織のセキュリティ</li> <li>資産の分類及び管理（情報の分類、資産に対する責任、個人情報 等）</li> <li>人的セキュリティ（利用者の訓練、セキュリティ事件・事故への対処 等）</li> <li>物理的及び環境的セキュリティ（装置のセキュリティ 等）</li> <li>通信及び運用管理（悪意のあるソフトウェアからの保護、媒体の取扱 等）</li> <li>アクセス制御（利用者のアクセス管理、ネットワークのアクセス制御 等）</li> <li>システムの開発及び保守（システムのセキュリティ要求事項、開発及び運用過程におけるセキュリティ 等）</li> <li>事業継続管理</li> <li>適合性（法的要求事項への適合、システム監査の考慮事項 等）</li> </ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報システムリスクの管理体制</li> <li>情報システムリスクの識別と評価</li> <li>情報システムリスク対策</li> </ul>
システム監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT部門の評価</li> <li>内部監査</li> <li>外部監査</li> <li>第三者機関による認証</li> </ul>

\*調査カテゴリ「システム監査」には、システム監査・セキュリティ監査・業務監査が含まれます。会計監査は含まれません。

## 5-1. 調査方法概要

### 調査フレームワーク 2/3

大項目	中項目
外部委託会社管理	<ul style="list-style-type: none"><li>外部委託先の選定</li><li>外部委託契約の締結</li><li>外部委託業務の管理</li></ul>
災害対策	<ul style="list-style-type: none"><li>情報システムの災害対策計画の策定と維持管理</li><li>緊急事態に対する準備</li><li>対策本部における対応</li><li>コンピュータセンターにおける対応</li><li>社会保険事務所等における対応</li></ul>
障害対策	<ul style="list-style-type: none"><li>手続き</li><li>発生管理</li><li>原因究明</li></ul>
安全性・信頼性要求	<ul style="list-style-type: none"><li>技術的要求</li><li>非技術的要求</li><li>安全性・信頼性要求の充足（システムの安全性・信頼性）</li></ul>
ドキュメント管理	<ul style="list-style-type: none"><li>ドキュメント管理</li></ul>

\*ドキュメントの種類としては、開発時の基本計画書、システム基本計画書、基本設計書、詳細設計書、運用時のシステムフローチャート(「フロー」)、システムの運用関連取扱要領、システムのオンライン操作マニュアル等を指します。

## 5-1. 調査方法概要

### 調査フレームワーク 3/3

大項目	中項目
サポートサービス・教育	<ul style="list-style-type: none"><li>■ サポートサービス(ヘルプデスク機能)</li><li>■ 教育</li></ul>
システムライフサイクル	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 開発標準</li><li>■ 基本計画</li><li>■ 設計</li><li>■ 構築</li><li>■ テスト</li><li>■ 問題管理</li><li>■ プロジェクト管理</li><li>■ 開発要員管理</li><li>■ 移行</li><li>■ 変更管理</li><li>■ 運用要員管理</li><li>■ 運用標準</li><li>■ 運用管理</li></ul>

## 5-2. 調査結果概要 調査結果(まとめ)

- 調査結果概要は以下の通りです。

調査カテゴリ	調査結果概要
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア、ネットワークのセキュリティは確保されているが、仕組み(個人確認、ログ取得等)、規程、教育、知識は不十分。使用者特定をシステムのみではできなかったが、機能を追加し対応中</li> </ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク分析のプロセスが確立しておらず、一部システム構築時にリスク分析が行われているものの、社会保険庁全体のリスクは把握できていない</li> </ul>
システム監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム関連業務(開発、運用等)やセキュリティ等についての監査が実施されておらず、監査対象に不足がある。全体の監査結果をとりまとめる組織/会議体等はない</li> </ul>
外部委託会社管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>機密保持契約は結ばれているものの、セキュリティ等についての詳細な要件提示・遵守状況の監理等はなされていない。外部委託会社からの監査実施報告等も行われていない</li> </ul>
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務センターにおける災害復旧手順書が、現在のシステム構成と合致していない(見直し中)</li> </ul>
障害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害発生管理はなされているものの、障害原因・再発防止策検討には、不十分な点がある</li> </ul>
安全性・信頼性要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム全体の安全性・信頼性は確保されている。システムの安全性・信頼性要件は、個々の案件については明確になっているものの、全体としてまとめられていない</li> </ul>
ドキュメント管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメントの安全な管理については実施されている。ドキュメントの作成・管理・廃棄手順についても、開発標準や各種規程内で定められている。ドキュメント管理プロセスに改善の余地有</li> </ul>
サポートサービス・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルの的確な改訂が行われていない、また新業務導入時の利用者への事前研修が十分ではない場合がある</li> </ul>
システムライフサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発標準の見直しが行われていない。プロジェクトの品質確保のための環境・プロセスが不十分である(テスト環境の不足、品質評価プロセスの不足)</li> </ul>

\* サポートサービス・教育は、システム使用に係るサポート/教育を範囲とします。セキュリティやドキュメント管理等の各種規程の周知徹底については、関連する各調査カテゴリの範囲として調査いたします。

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 1/6

- 各要件に対して達成されている事項と達成度が低い事項を整理すると以下のようになります。

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
セキュリティが確保されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムセンターにおける物理的及び環境的セキュリティが確保されており、入退室管理、一時パスワードの払出管理等が適切に行われている</li> </ul>	<p>&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会保険庁のセキュリティ確保を統括・責任を持っている組織/体制（セキュリティ委員会、CISO:最高情報セキュリティ責任者等）が存在しない。セキュリティについての専門知識を有した人材が不足しており、管理者・担当者がセキュリティの知識があるとは限らない</li> </ul> <p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ関連規程が改定されておらず、情報分類等セキュリティポリシー・対策基準との相違がある、システム使用者に対するセキュリティマニュアルが不十分である等、規程整備が不十分である</li> <li>セキュリティ研修、内部のセキュリティ事故感知の仕組みが不足しており、担当業務範囲外の情報の閲覧等、内規等への不適合が発生している</li> <li>外部委託会社に対してのセキュリティ要件が未提示であり、外部・内部それぞれにおけるセキュリティ事故・違反時の罰則が不明瞭である</li> </ul> <p>&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カード使用者の特定がシステムのみではできない。特にデータ参照処理では困難である H17年2月 パスワードとIDによる識別機能を追加(対応済み)</li> <li>初期パスワードの変更、パスワード使用期限の設定などがなされていない H17年2月 パスワードの制限機能を追加(対応済み)</li> <li>外部委託会社が、マスク化等の処理が施されていない本番データを参照している</li> <li>MT保管、FD保管の施錠保管、管理簿の使用等、社会保険事務所の環境的セキュリティ施策が標準化されていない</li> </ul>

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 2/6

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
リスク管理が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部のシステム構築や、システムセンター建設時等、部分的にリスク分析が行われている</li> </ul>	<p>&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務・IT・外部委託会社を含めた全体的なリスク管理体制がない。各システムやセンター等、個別に検討を行っているが、一時的である</li> </ul> <p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理プロセスが未確立で、全体的なリスクが把握できていない</li> </ul> <p>&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リスク分析結果と対策との関連性が低く、緊急性の高いリスクに対して対策が取られていない/対策に不備がある場合がある</li> </ul>
システム監査が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部システム監査実施にあたって、当該年度の監査計画が策定されており、独立した立場の組織・人がシステム監査を行っている</li> </ul>	<p>&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム監査に関する横断的組織/会議体がなく、全体的な監査状況が把握できていない</li> <li>システム監査とセキュリティ監査における専門知識/技術動向把握が不十分である</li> </ul> <p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ・システム関連業務が対象となっていない等、システム監査範囲の網羅性が不十分であり、システム監査内容・方法の見直しプロセスも不十分であった</li> <li>システム監査基準/自主監査基準(業務上のチェックリストを含む)の関連性が不明確で、自主監査結果の活用が不十分である外部委託会社に対するシステム監査が未実施であり、リスクに基づいたシステム監査が行われていない</li> </ul>

\*調査カテゴリ「システム監査」には、システム監査・セキュリティ監査・業務監査が含まれます。会計監査は含まれません。

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 3/6

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
外部委託会社管理が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システムセンターでは、外部委託業務の管理として、定期的に連絡会議等を行い、委託業務の改善に努めている</li> </ul>	<p data-bbox="1122 408 1408 449">&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外部委託会社選定・評価のための知識が不足している</li> </ul> <p data-bbox="1122 534 1325 575">&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外部委託先の選定基準が不明瞭である</li> <li>■ 外部委託会社業務について、定期的に評価を行う仕組み(評価ポイント等)がなく、外部委託契約・外部委託業務内容等の見直しが行われていない</li> <li>■ 外部委託会社のシステム監査結果の提示、社会保険庁のシステム監査実施等が行われていない</li> <li>■ 機密保持契約は結ばれているものの、セキュリティ等についての詳細な要件・基準等が外部委託会社に提示されておらず、セキュリティ等の事故発生時の罰則が不明瞭である</li> <li>■ 外部委託会社の作業環境、作業人員(特に開発環境、開発人員)等について管理不足である</li> </ul>

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 4/6

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
災害対策が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態に対する災害対策として、システムセンターの災害対策、データのバックアップと外部保管、ネットワークの二重化等、環境面での対策がとられている</li> </ul>	<p data-bbox="1127 408 1408 449">&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム・本部・社会保険事務局・社会保険事務所等それぞれにおける、災害対策策定と見直しの役割・責任が不明確である</li> </ul> <p data-bbox="1127 587 1334 628">&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害計画策定と維持管理プロセスが不足しており、システム復旧手順が維持されていない</li> <li>■ 外部委託会社(三鷹センター)の復旧方法を、社会保険庁が把握しておらず、センター同時被災時の復旧方法が不明瞭</li> <li>■ 災害対策が関連する外部委託会社を含め、全体に周知されているわけではない</li> </ul> <p data-bbox="1127 964 1317 1005">&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域災害に対する備えが不足している。災害対策(バックアップセンター、復旧時間、データ保管等)の必要性・十分性について、検討の余地がある</li> </ul>

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 5/6

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
障害対策が整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害の発生管理が行われ、直接原因の究明と対策・再発防止のための対策が取られている</li> </ul>	<p>&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全障害を取りまとめている部課がない</li> </ul>
		<p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害原因分析の詳細度が不足しており、障害原因が発生タスク(設計、テスト等)までの改善に結びついていない。テストの不備・レビュー不足等、運用以前のフェーズについての詳細な原因追求には至っていない</li> <li>再発防止を目的とした、各種規程への反映が不十分である(例:ウィルス感染事故 セキュリティマニュアルへの反映)</li> <li>障害や機能の重要度に合わせた対応期限は設定されていない</li> </ul>
安全性・信頼性要件が明確で実現されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々のシステム構築時に安全性・信頼性要件が検討されており、各システムにおいて、要件に沿った適切な技術的施策が採用されている</li> <li>システムの信頼性が確保されており、オンラインのダウンによる業務への支障がほとんど生じていない</li> </ul>	<p>&lt; 組織/体制/人 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全性・信頼性に係る要件の取りまとめ体制・引継ぎが不明確で、現在の担当者が要件を十分に把握・引継できていないため、外部委託会社に依存している部分がある</li> <li>システムについての専門知識/技術動向把握が不十分である</li> </ul>
		<p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要件は個々のシステム設計時に個別に考えられており、全体としての要件が取りまとめられておらず不明確である</li> </ul>

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-2. 調査結果概要

### 調査結果 6/6

要件	達成されている事項	達成度が低い事項
ドキュメント管理が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発関連ドキュメントの安全な管理について規程が定められており、規程にそった管理が行われている</li> </ul>	<p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメントの種類ごとに、作成者、承認者、日付、改訂履歴などの表記が異なっている</li> </ul>
		<p>&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙をベースとする管理方式となっており、文書改訂の効率性・確実性が不足している</li> </ul>
サポートサービス・教育が適切に行われていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>問い合わせ窓口の担当部課が決められている</li> </ul>	<p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問が多い箇所等について、マニュアル改善が行われていない</li> </ul>
		<p>&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規システム機能の研修や電子マニュアルの参照が出来る環境が整備されていない</li> </ul>
システムライフサイクルに関する仕組みが整備されていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発プロセスに関しては、開発標準が明確に定義されており、標準に沿ったシステム開発が行われている</li> <li>業務センターにおけるシステム運用手順が明確であり、的確に実施されている</li> </ul>	<p>&lt; プロセス &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発標準が委託会社に依存しており、見直しが的確に行われていない標準(規程)もある</li> <li>プロジェクトの終了時の評価・分析が不足しており、品質向上の機会に生かされていない</li> <li>テストデータが不備なために、十分なテストが行えない場合がある</li> </ul>
		<p>&lt; IT/環境 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テスト環境が不備なために、十分なテストが行えない場合がある</li> </ul>

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に記載しています。

## 5-3. 課題分析結果

### 課題一覧 1/4

- 各調査カテゴリにおける課題の一覧は、下記の通りです。

調査カテゴリ	組織/体制/人	プロセス	IT/環境
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティに関する体制の不備</li> <li>セキュリティについての専門知識を有した人材の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ規程の未改訂 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>セキュリティマニュアルの不足</li> <li>情報分類の相違</li> <li>内部のセキュリティ事故感知の仕組み不足</li> <li>内規等への不適合</li> <li>セキュリティ研修の不足</li> <li>外部委託会社に対してのセキュリティ要件の未提示 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>罰則が不明瞭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(#)外部委託会社の本番データ参照 (現在対応中)</li> <li>(#)使用者特定が困難 1</li> <li>(#)パスワード管理の不備 2</li> <li>社会保険事務所の環境的セキュリティの差異</li> </ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理体制が未確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク分析プロセスが未確立</li> <li>全体的なリスクの未把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク分析結果と施策との関連性の低さ</li> </ul>

- 1 対応済み：H17年2月パスワードとIDによる使用者識別機能を追加  
 2 対応済み：H17年2月パスワードの制限機能を追加

\*緊急対応プログラム：社会保険庁の構造的課題への対応方策として早急を実施すべき事項を整理したもの。  
 (2004年9月17日公表、2004年10月25日修正、2004年11月26日再修正)

\*(#)がついている課題については、7章「システム刷新の方向性」にてシステム要件を抽出しています。  
 \*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に、2004年6月～2004年12月までに指摘した課題を記載しています。

## 5-3. 課題分析結果

### 課題一覧 2/4

調査カテゴリ	組織/体制/人	プロセス	IT/環境
システム監査	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム監査に関する横断的組織/会議体が未設置</li> <li>■ システム監査とセキュリティ監査における専門知識/技術動向把握が不十分</li> <li>■ 専門知識の補充の検討不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ システム監査範囲の網羅性が不十分</li> <li>■ システム監査内容・方法の見直しプロセスが不足</li> <li>■ システム監査基準/自主監査基準の不足 (現在対応中)</li> <li>■ 自主監査結果の活用不足 (現在対応中)</li> <li>■ 外部委託会社に対するシステム監査が未実施 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>■ リスクに基づいたシステム監査の未実施</li> </ul>	-

\*(#)がついている課題については、7章「システム刷新の方向性」にてシステム要件を抽出しています。

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に、2004年6月～2004年12月までに指摘した課題を記載しています。

## 5-3. 課題分析結果

### 課題一覧 3/4

調査カテゴリ	組織/体制/人	プロセス	IT/環境
外部委託 会社管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>選定・評価のための知識の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部委託先の選定基準が不明瞭 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>ISO等各種認証基準の未活用 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>外部委託会社の評価プロセスが未 確立</li> <li>SLA締結の検討</li> <li>自主監査結果を管理していない</li> <li>安全性・信頼性要件が未提示、違 反時の罰則が不明瞭 (緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>開発環境/開発人員等の管理不足</li> </ul>	-
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害計画策定と維持管理組織が 不明確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害計画策定と維持管理プロセス の不足</li> <li>災害対策(システム復旧手順)が維 持されていない</li> <li>広域災害に対して復旧手順が不明 瞭</li> <li>災害対策が未周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(#)広域災害に対する備えの不足</li> </ul>
障害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>全障害を取りまとめている部課が ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害原因分析の詳細度が不足</li> <li>各種規程への未反映</li> <li>対応期限が未設定</li> </ul>	-

\*(#)がついている課題については、7章「システム刷新の方向性」にてシステム要件を抽出しています。

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に、2004年6月～2004年12月までに指摘した課題を記載しています。

## 5-3. 課題分析結果

### 課題一覧 4/4

調査カテゴリ	組織/体制/人	プロセス	IT/環境
安全性・信頼性要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体的なシステム要件(安全性・信頼性)の取りまとめ体制・引継ぎが不明確</li> <li>■ 外部委託会社への依存が発生</li> <li>■ 専門知識の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全体的なシステム要件(安全性・信頼性)が不明確</li> </ul>	-
ドキュメント管理	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ドキュメント標準化の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (#)ドキュメントの電子化・電子管理の不足</li> </ul>
サポートサービス・教育	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マニュアル改善プロセスの不備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (#)研修・知識共有等に使用する窓口装置・サーバーの不備(緊急対応プログラムにて対応中)</li> <li>■ (#)マニュアルの電子化の環境不備</li> </ul>
システムライフサイクル	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発標準の見直しプロセスが不十分</li> <li>■ プロジェクト評価の不足</li> <li>■ テストデータの不備等によるテストの不十分性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (#)テスト環境の不備</li> </ul>

\*(#)がついている課題については、7章「システム刷新の方向性」にてシステム要件を抽出しています。

\*調査カテゴリ「システムライフサイクル」以外の課題に対する刷新の施策は、10章-1「安全性・信頼性刷新の方向性」に記載します。

調査カテゴリ「システムライフサイクル」の課題に対する刷新の施策は、10章-2「システム運営刷新の提案」に記載します。

\*2004年4月～2004年12月までの調査結果を元に、2004年6月～2004年12月までに指摘した課題を記載しています。